



拜啓 喜和の時即登

山健勝とよみ淡を敬けり

奉の愈よ内閣組織の大命

と拜せらるる趣 國家の

為の大至極なる存を

實の過日來此況の傳るや

如何しぬ速きと事

と存し寧ろ西辭退と進

り自下能乎と存在りて處

時句に終り閣下を煩ハ

サハルヲ得ス 最後の此

事公と思召し申す心

ヲ相成りたりと事 一は

深り感激侍り

是多クモ市大表の者

深し感激侍

是多しモ市大表の者

表を世間深し厚き

沈み人心沮表致じたる坊

居唯今閣下所存肉

の新聞号外出に怪も

一道ノ電流通一なる如

世上俄か子生氣を散し

たは實に愉快なりや

海軍問題の如きは自ら

解決題も一有しと存

るに財政問題の重

きを置かれ特ニ大藏

大臣の有力者を堪奉

戦後の宿契と一新し吃

田氏に安心を与へらる

事は一般の期待する所

と愚考所侍

閣下の周囲には忠実なる

進言者多し有し儀

閣下の周囲には忠実なる

進言者多し有し儀

と存せしむる王生の知

遇に對し敢て妄言を

進し古清弊を仰

下は時に僅く御清福

を祈り上候 幸甚

早く出立の豫定あり

しかり去月来老母

の病氣を日夜看視す

の爲ら可哀と果さす

由ふ所なりと居り候

伯壽夫人 昨四日様

に 貴教に鳳琴 雅志

以て之 頓首

早し十言

上 遠野富之助

大隈伯壽

閣下